

Syllabus ID	syl.-130613		
Subject ID	sub-130305751		
更新履歴	20130325新規		
授業科目名	工業英語 (Technical English)		
担当教員名	出川 智啓		
対象クラス	電子制御工学科5年生		
単位数	1学修単位(自学自習を含め45時間の学修をもって1単位とする)		
必修/選択	必修		
開講時期	前期		
授業区分	基礎能力系		
授業形態	講義		
実施場所	電子制御工学科5年HR		
授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味) インターネット時代の技術者は、世界的技術レベルで活躍し、人類の発展に寄与することができますが、その規模での責任を問われることも起こりえます。電子制御工学科の学生は、世界的規模で責任ある情報を発信し、自信を持って受信する能力を身につけるよう努力します。(電子制御工科学習・教育目標より)			
準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識) 英語および物理の基礎が必要			
学習・教育目標	Weight	目標	説明
		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
	◎	D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成
D:コミュニケーション能力を備え、国際社会に発信し、活躍できる能力を身につける。			
学習・教育目標の達成度検査	1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験をもって行う。 2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格をもって当該する学習・教育目標の達成とする。 3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。		
授業目標 1. 自身の英語能力を把握し、TOEICスコア350～500点以上を獲得できる。 2. 物理学など専門分野の英文を読み、内容を理解できる。 3. 卒業研究に関係する内容の英語論文を読み、内容を理解できる。			
授業計画 (プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)			
回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	前期オリエンテーション	プログラムの学習・教育目標、授業概要・目標、スケジュール、評価方法と基準等の説明	
第2回	工業英語の基礎	英語の発音、一般英語と工業英語の違い	
第3回	英単語	専門用語の英単語、文法の解説(動詞の活用、前置詞)	
第4回	英単語	専門用語の英単語、文法の解説(動詞の活用、名詞と格)	
第5回	短文読解	10語程度の英文読解、文法の解説(助動詞)	
第6回	短文読解	10語程度の英文読解、文法の解説(受動態)	
第7回	短文読解	50語程度の英文読解、文法の解説(過去分詞)	
第8回	前期中間試験		×
第9回	答案の返却	答案の返却および解説	
第10回	短文読解	50語程度の英文読解、文法の解説(ing形)	
第11回	短文読解	100-200語程度の英文読解、文法の解説(名詞と冠詞)	
第12回	短文読解	100-200語程度の英文読解、文法の解説(不定詞)	
第13回	短文読解	100-200語程度の英文読解、文法の解説(従属節)	
第14回	長文読解	500語程度の英文読解、文法の解説(関係代名詞)	
第15回	長文読解	500語程度の英文読解、文法の解説(関係代名詞)	

	前期末試験		
第16回	答案の返却	答案の返却および解説	×
課題			
<p>出典:担当教員が作成したプリントを授業終了時に配布 提出期限:出題した次の週 提出場所:授業開始直後の教室 オフィスアワー:火曜日16:30-17:00、場所:出川研究室</p>			
評価方法と基準			
<p>評価方法: 授業毎に行う小テスト、課題提出状況、定期試験の結果により評価する。 学習内容を確認するため、適宜課題を課す。長期休業中の課題として、卒業研究の内容に関連する英文論文の読解と要約を課し、そのレポート評価を成績に加える。 定期試験においては、それまでに学習した知識およびその応用力を問う。</p> <p>評価基準: 中間試験40%、期末試験40%、課題15%、小テスト5%</p>			
教科書等	教員が準備するプリント、e-Learning TOEIC トレーニングソフト Newton TLT等		
先修科目	工業英語(4年)		
関連サイトのURL	http://www.rakuten.co.jp/new-study/ http://jstc.jp/index.shtml		
授業アンケートへの対応	評価基準を明確にするため、授業内容を選別し、板書が過大にならないよう配慮するとともに、授業進度を学生の理解度に合わせる。		
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。		